

## 設立趣旨書

新しい世紀を迎えて、これまでのように「公共」をすべて政府や自治体に任せるのではなく、地域社会への関わりや目に見えない豊かさを市民自らも担い手となって創り出そうとする意識が高まっています。時代は着実に変化しています。

茅ヶ崎市内にも、今までの社会の仕組みではできなかったことを市民なりのやり方で解決しよう、行政や企業とともに望ましい社会のあり方を創りだそうと考え、行動する市民、これから始めようとする市民が多様に存在しています。これら「新しい公共」に価値を置く NPO（非営利活動組織）は社会を変える原動力と可能性を秘めています。また一方では、福祉、環境、教育、人権、国際交流、まちづくりなど様々な分野のボランティア活動や市民活動などの NPO は、多様な価値観の共有や、それを具体化することの難しさを合わせもっています。

そこで、わたくしたちは、平成14年4月より、公共的社会的な NPO が互いに学び、連携し、チカラをつけるために、情報・交流・相談の支援、行政との橋渡しなどをおこなってきました。さらに活動分野内や分野をこえた NPO の支援を推進し、NPO と行政や企業とのパートナーシップによる社会的な仕組みづくりを提案し、新たな市民社会の実現のために、特定非営利活動法人の設立を図ることにしました。

2003（平成15年）2月19日

特定非営利活動法人茅ヶ崎市民活動サポートセンター管理運営委員会

設立発起人 加藤丈晴 青木洋子